

# 都市再生整備計画(第4回変更)

うれしのおんせん うれしのおんせんえきしゅうへん ち く  
嬉野温泉・嬉野温泉駅周辺地区

さが うれしのし  
佐賀県 嬉野市

令和2年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

都道府県名	佐賀県	市町村名	嬉野市	地区名	嬉野温泉・嬉野温泉駅周辺地区	面積	155 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度				

**目標**  
 大目標:嬉野温泉駅から始る、誘う・魅せる・親しむまちづくり  
 目標①:嬉野市の新たな玄関口となる嬉野温泉駅の拠点性を創出し、令和4年新幹線開業に向けて地域住民の取り組みを通じ集客効果を高める。  
 目標②:嬉野温泉駅と嬉野温泉街を結び仕組みを創出し、新たな人の流れを生みだし地区の回遊性を高める。  
 目標③:観光拠点となる嬉野温泉街の再生を進め、目標①、目標②と連動し訪れる人の増加及び生活機能の確保を目指す。

**目標設定の根拠**  
 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。  
 本市では、昭和30年代以降から嬉野温泉街及び周辺住宅地の整備が進められてきたが、拠点となる交通結節点が少なく、人口減少・少子高齢化も進行し、嬉野温泉街及び周辺では空洞化が進み、観光客を含めた人の流れが停滞し、生活機能や観光都市としての求心力が低下している。しかし、令和4年新幹線開業に伴い、新たな交通結節点となる嬉野温泉駅が設置されることから、嬉野温泉駅周辺において交流や集客効果を高めるため観光交流施設、嬉野温泉街までの交通機能・基盤整備を行い、嬉野温泉・嬉野温泉駅周辺地区において都市機能の拡散防止と再生を図る。

**まちづくりの経緯及び現況**  
 ・本市は、長崎県と接する佐賀県南西部地域に位置し、温泉地、うれしの茶、長崎街道の面影を残す歴史的な街なみ等、観光資源に恵まれた地域である。  
 ・九州新幹線西九州ルート<sup>1</sup>の整備において嬉野温泉駅(仮称)の設置が決定しており、観光都市を機軸に広域圏における重要な役割を担う事が期待されている。  
 ・嬉野温泉駅周辺整備に向けて、「新幹線嬉野温泉駅周辺整備基本構想・基本計画(平成21、22年度)」を策定しており、「人・もの・情報がふれあうもてなし交流拠点」をテーマとして、人の流れの誘導や本市の広域的な玄関口としてのまちづくりの推進を位置づけている。  
 ・平成24年から、「嬉野市市街地地区」都市再生整備計画を策定し、『地域特性を発揮するまわり(集約)ある拠点の創出と安全・安心な市街地環境の形成』に向けた事業を進めている。  
 この中で、嬉野温泉街地区では、住む人・訪れる人との交流、観光情報の発信や地域文化とのふれあい、また回遊拠点としての役割を担う観光拠点の形成に向けた取り組みを進めている。  
 また、嬉野温泉駅周辺地区では、区画整理事業を基本として、駅周辺の基盤整備、アクセス道路等の社会基盤整備を進めている。  
 ・平成27年から、嬉野温泉駅周辺まちづくり委員会を開催し、駅周辺のまちづくりのあり方として、導入機能や土地利用・デザイン方針、事業手法等の検討を進めている。  
 ・また、コンパクトな都市づくりにおける拠点地区の形成に向けて、嬉野温泉駅周辺地区の中核施設として国立病院機構嬉野医療センターを誘致し、平成31年の開業を目指している。  
 ・平成30年3月に策定された立地適正化計画に基づき、嬉野温泉駅周辺地区や嬉野温泉街地区を含む都市機能誘導区域において各種都市機能の誘導を進めることにより、持続可能な都市構造の実現を目指し、まちなかの賑わい創出や地区内のネットワーク形成を図る。

**課題**  
 ・嬉野温泉駅は未利用地に整備されるため、新駅としての交通結節点としての基盤は脆弱であり、利用者等が休憩したり、嬉野の文化や人と交流できる場や市の情報を発信したりする機能等が未整備である。また、嬉野市の新たな玄関口として、嬉野らしい景観に配慮しながら、訪れる人や住む人が、安全・安心、そして快適に利用しやすい交通結節機能を確保していくことが求められる。  
 ・駅周辺に、道路、公園等の都市空間を整備するだけでは、人やものが集まったり、開発が進むことのハードルは高く、訪れたい・開発したいと感じる魅力的な空間を創出していく仕組みやまちづくりの機運を高めていく必要があるが、その体制は不十分である。  
 ・新幹線の開業効果を発揮するには、嬉野市の産業を支える観光業(温泉街)へ人を如何に呼び込むかが重要となるが、嬉野温泉駅と温泉街を結ぶ交通機能は未整備な状況にある。  
 ・嬉野市の観光客数は日帰り観光客数は増加しているが、宿泊客数は平成19年(730千人)をピークに減少している。これは、温泉街に楽しめる場所が少なく観光地としての回遊性が乏しいため、観光客が周辺観光地に流れるなどの課題がある。

**将来ビジョン(中長期)**  
**【嬉野市総合計画】**  
 ・「歓声が聞こえる嬉野市」を将来像として位置づけ、「世代をこえて住み続けるまち」「個性輝く魅力あふれるまち」「活力ある自治先進のまち」「みんなで創る自立のまち」を目指している。  
 ・九州新幹線西九州ルート整備と新駅設置による波及効果を最大限に活かし、都市的サービスの機能集積、住宅地整備により魅力ある市街地形成を図るとともに、温泉、自然、歴史資源を活用しながら保養型・滞在型・体験型の健康保養地の形成を図ることが位置づけている。  
**【嬉野市都市計画マスタープラン】**  
 ・「集約と連携による新しい嬉野市の構築」の理念に基づき、「住むひとを信頼で支える生活安心都市」「訪れるひとを癒して迎えるホスピタリティ都市」と掲げ、全体像として「誘う・魅せる・親しむまち 嬉野」を位置づけている。  
 ・上記計画の地域別構想において、嬉野市街地は「地域の生活文化と非日常の都市魅力が融合し、社会的・文化的価値を生み出す広域交流のまち」を位置づけている。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- ・嬉野温泉駅については、新駅であり本市の新たな交通結節点となるため周辺に拠点機能を高める施設の配置を行い、観光交流機能の充実を図る。
- ・嬉野温泉街及び周辺地区は、本市の都市中核拠点であり観光地であるため、観光客の回遊性・滞留性を図る施設の配置を行い、併せて新駅と結節する新たな交通機能や安全・安心な交通基盤の充実を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

- ・嬉野温泉駅周辺については、市有の未利用地を活用し、観光機能充実のため公園、観光文化交流センター、足湯施設等を整備する。
- ・嬉野温泉街及び周辺地区は、観光客が新駅から温泉街までアクセスできる循環バス等の導入検討、メイン通りの交通機能、温泉街にまちなか広場を整備し、観光客の回遊性、滞留性を向上させる。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

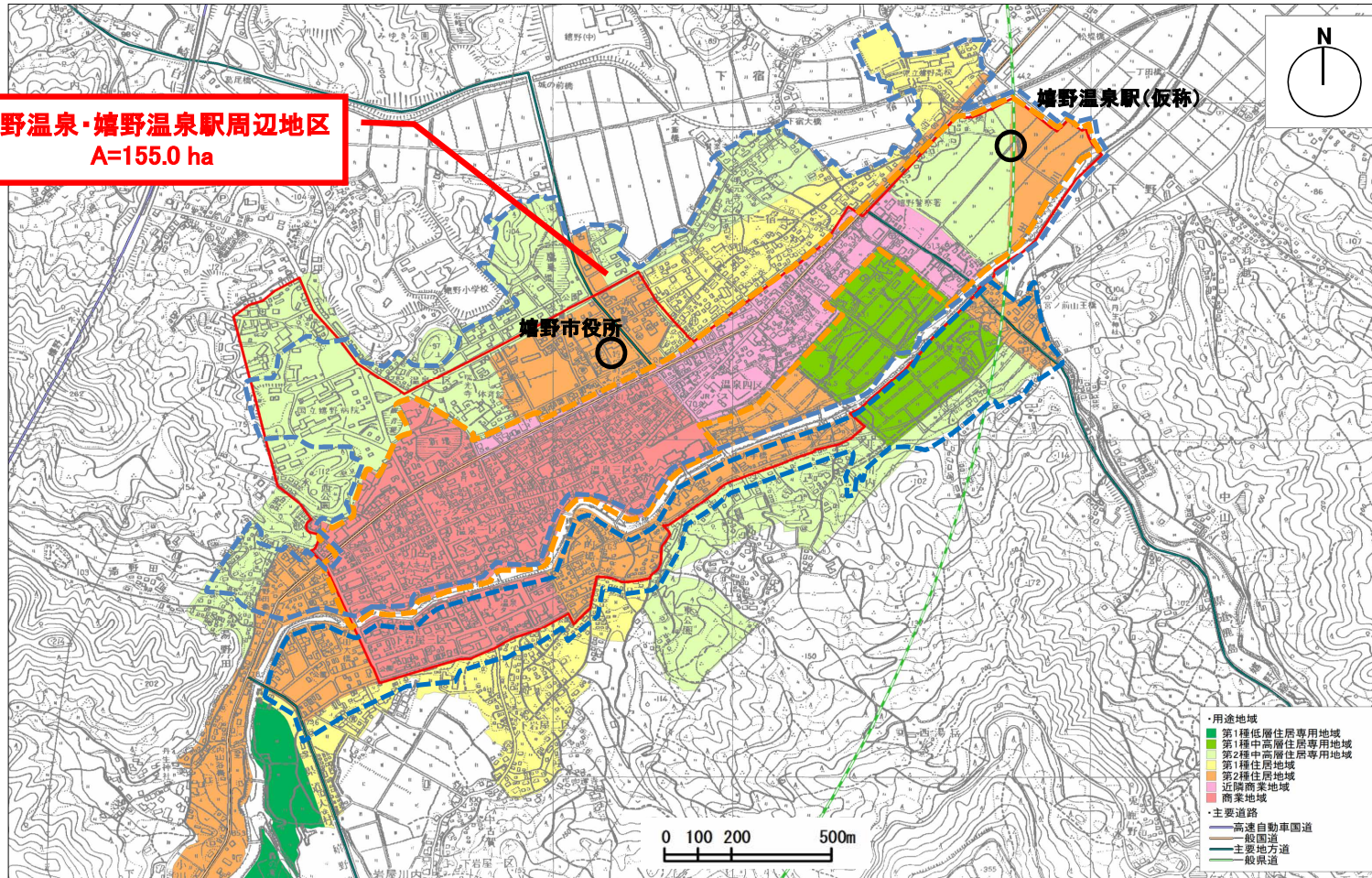
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
まちづくり活動参加者数	人/年	誘うまち・魅せるまちづくり活動推進事業(地域デザイン会議)等におけるまちづくり活動への参加者数	目標①の達成を表す指標として設定 :新幹線開業に伴う集客効果やその機運の高まりを示す指標	74 人/年	H27	104 人/年 R3
嬉野温泉街周辺のバス停の降車人数	人/月	バス会社が計測する、嬉野温泉街に位置するバス停の1ヵ月当たりの降車人員 ※バス停は、嬉野温泉BC(嬉野温泉)、体育館前、公会堂前)の年間乗降客数 ※嬉野温泉駅方面からと温泉街へアクセスするバス路線を対象	目標②の達成を表す指標として設定 :嬉野温泉駅と嬉野温泉街の人の流れを示す指標	4,174 人/月	H27	4,174 人/月 R3
宿泊客数(国内)	千人/年	嬉野市市勢要覧において計測している年間宿泊客数 ※国内を対象	目標③の達成を表す指標として設定 :温泉街の再生、嬉野温泉駅と温泉街の連携による賑わいの再生や訪れる人の増加を示す指標	507千人/年	H26	507.2千人/年 R3
「歩行者の交通環境や地域の防犯対策などの安全性」に関する満足度	ポイント	住民アンケート調査における嬉野駅周辺地区を対象とした「歩行者の交通環境や地域の防犯対策などの安全性」に関する満足度(ポイント) (「満足5点」「やや満足4点」「普通3点」「やや不満2点」「不満1点」で算出した時の平均点)	目標①②の達成を表す指標として設定 :新たな玄関口としての交通結節点周辺の安全性や快適性、また嬉野温泉駅と温泉街を結ぶ市街地の安全性等の高まりを示す指標	2.71ポイント	H22	3.0ポイント R3

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>【嬉野市の新たな玄関口となる拠点性の創出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線利用者だけでなく地域住民をはじめ、住む人・訪れる人が憩いや癒しを感じるとともに、そこで滞留し、賑わうことの出来るシンボリックな駅前公園や駅西シンボルロード緑地の整備を行う。</li> <li>・観光情報の発信、地域文化とのふれあい、また人と人が交流するなど、交通結節点として人・もの・情報が交流する拠点の形成に向けて、観光文化交流センターの整備を行う。</li> <li>・嬉野市の新たな玄関口として、誰もが安全・安心で快適に利用しやすい駅前広場の整備に向けて、街路灯、シェルターの整備を行う。</li> <li>・「森の中」をイメージした嬉野らしい景観の創出など、玄関口に相応しい都市空間の創出に向けて、景観ガイドラインの策定を進める。</li> <li>・九州新幹線西九州ルートの開業を契機として、地域の賑わいや活力を創出するため、まちづくり活動の母体となる組織づくりを進める。</li> <li>・これら組織が主体となって、市民が親しみを持ち、来街者を誘い、地域を魅せるイベントの開催など、市民主体の各種まちづくり活動を進める。</li> <li>・駅周辺にふさわしい土地利用の推進や都市空間の創出のため、まちづくりの将来像を共有し、地区の魅力や価値を高めるエリアマネジメント等の取り組みに向けて、官民連携によるまちづくりの検討を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■駅前公園(公園:基幹事業)</li> <li>■駅西シンボルロード緑地整備事業(高質空間形成施設:基幹事業)</li> <li>■観光文化交流センター(高次都市施設:基幹事業)</li> <li>■シェルター(高質空間形成施設:基幹事業)</li> <li>■街路灯・照明灯(高質空間形成施設:基幹事業)</li> <li>□足湯等施設整備事業(地域創造支援事業:提案事業)</li> <li>□(仮)景観ガイドライン策定事業(まちづくり活動推進事業:提案事業)</li> <li>□誘うまち・魅せるまちづくり活動推進事業(まちづくり活動推進事業:提案事業)</li> <li>□官民連携整備手法の検討(地域創造支援事業:提案事業)</li> <li>○嬉野温泉駅周辺地区土地区画整理事業(関連事業)</li> </ul>
<p><b>【嬉野温泉駅と嬉野温泉街を結ぶ仕組みの創出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嬉野温泉街と嬉野温泉駅の快適な移動をサポートするため、コミュニティバスやレンタサイクルなど、新たな交通機能の検討を進める。</li> <li>・新幹線から嬉野温泉街へスムーズに行けるアクセス道路や自転車ルートの創出に向けて、回遊性の向上や安全・安心に利用できる交通基盤整備や社会実験等を行う。</li> <li>・これら事業については、嬉野温泉駅周辺地区土地区画整理事業(進行中)、第7期土地区画整理事業(完了)及び市道温泉駅一丁田線等による道路整備と連携して進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○嬉野温泉駅周辺地区土地区画整理事業(関連事業)</li> <li>○市道温泉駅一丁田線(関連事業)</li> <li>○都市計画道路新幹線嬉野温泉駅2号線(関連事業)</li> <li>■街路灯・照明灯(高質空間形成施設:基幹事業)</li> <li>□レンタサイクル検討事業(地域創造支援事業:提案事業)</li> <li>□循環バス導入検討事業(地域創造支援事業:提案事業)</li> </ul>
<p><b>【観光拠点となる嬉野温泉街を再生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嬉野温泉街の回遊性を高めるため、メイン通りとなる「本通り(嬉野温泉商店街)」について道路空間の整備を進める。</li> <li>・当該整備に当たっては、道路の一方通行可など、誰もが安心して買い物や回遊が楽しめる空間創出に向けて、社会実験等の検討を進める。</li> <li>・嬉野温泉街に訪れる人が楽しく回遊したり、休憩したりできる、滞留性の高い都市空間の創出に向けて、まちなか広場の整備を進める。</li> <li>・嬉野温泉街の賑わいを再生するため、「本通り」沿道はじめ温泉街エリア一体の空き店舗対策を進める。</li> <li>・本計画の事業評価を行うため、事業効果分析を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本通り整備(道路:基幹事業)</li> <li>□本通り整備検討事業(事業活用調査:提案事業)</li> <li>■まちなか広場整備(地域生活基盤施設:基幹事業)</li> <li>□空き店舗改修事業(地域創造支援事業:提案事業)</li> <li>□官民連携整備手法の検討(地域創造支援事業:提案事業)</li> <li>□事業効果分析(事業活用調査:提案事業)</li> </ul>
<p>その他</p>	



嬉野温泉・嬉野温泉駅周辺地区(佐賀県嬉野市)	面積 155 ha	区域 嬉野市嬉野町大字下宿乙1185
------------------------	--------------	-----------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。





嬉野温泉・嬉野温泉駅周辺地区(佐賀県嬉野市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	嬉野温泉駅から始る、誘う・魅せる・親しむまちづくり	代表的な指標	まちづくり活動参加者数 (人/年)	74 (H27年度)	→	104 (R3年度)
			嬉野温泉街周辺のバス停の降車人数 (人/月)	4,174 (H27年度)	→	4,174 (R3年度)
			宿泊客数(国内) (千人/年)	507 (H26年度)	→	507 (R3年度)

